

# 特定非営利活動法人 健康推進プラネット会報 No.7

2022年2月



特定非営利活動法人健康推進プラネットは、養護教諭の皆さんが各学校において健康教育の中心となって活躍することにより、子どもたちが自分の健康に興味関心を抱き、健康について意識しながら成長していくことを目標に活動しています。そのために、研修会や学習会を開催して養護教諭の皆さんに学びの場を提供する等、今よりさらに力をつけて資質向上を目指そうとする養護教諭の皆さんを応援しようと考えています。今年度に行った後半の事業についてお知らせします。

## <事業内容>

今年度もコロナウイルスの蔓延による非常事態宣言発令のため、会の中止や延期等で日程調整が困難であったため、同日に複数の講座を開催し、運営するには今年度も厳しい条件でした。

しかし、検温、消毒、換気、ソーシャルディスタンス、マスク着用の徹底等の措置をとることにより、「第14回 日本学校保健研修会」も開催することができたため、講座についても何とか予定の回数を進めることができました。

講座の内容については、障害を抱える子どもたちのことを主に考えたうえで、困りごとを出来るだけ減らせるよう、障害の理解や周りの子どもたち・職員ができる支援についての内容を取り入れました。

また、コロナウイルスが蔓延する環境に対応するために、講座の後に学習会を設け、各学校のコロナウイルス対策の情報交換や、緊急時の対応について話し合いました。

### ① **第14回日本学校保健研修会**

2021年7月26日（木）に、イーブルなごやホールで開催しました。新型コロナウイルス蔓延による様々な制約がある中で、感染予防に細心の注意を払いながら開催しました。

会報⑥にて詳細を掲載しています。ホームページにてご覧ください。

### ② **健康システムコーディネーター養成講座**

養護教諭の持てる力を発揮して学校現場におけるすべての子どもたちの心身の健康を守り育て、また家庭・地域社会においても、健康の大切さを啓発し健康増進に努めるよう健康教育・保健指導をすすめていくための研修を行い、既定の単位を取得した人に健康システムコーディネーターの資格を授与します。今年度もコロナ関係で制限はありましたが、「障がいを抱える子どもたちの学校における環境づくりのための健康システムコーディネーター養成事業」として取り組んでいます。

この事業は日本郵便年賀寄付金の助成を受けています。

## <2021年度 健康システムコーディネーター講座日程・内容等>

回数	月日	曜日	講座内容	講師
1	7・26	木	「LBGTQAとは」	清水ユカリ氏
2	7・26	木	「癌について」	林克巳氏
3	7・26	木	「学校でのおねむりカルタを活用した眠育」	今枝昌子氏
4	10・23	土	「学童期に多い耳鼻科の疾病と障害」	服部忠夫氏

5	10・23	土	「生徒が意欲的に活動する委員会活動」	沢口由利子氏
6	11・27	土	「養護教諭の役割と共通理解」	田中清子氏
7	12・27	土	「安心安全な水道水」	名古屋市上下水道局

※ 子育て中で参加ご希望の先生は、託児室と専門の子守りを待機して対応しています。

### ③ 地域の困りごと解決応援事業

名古屋市社会福祉協議会の助成を受けて、地域の困りごと解決応援事業として「インクルーシブ教育の理解」に取り組みました。

- ① 8月5日（木）臨床心理士で公認心理師の華山将氏を迎えて、学級に2人くらいはいると予想される「発達障害について」、子どもたちの理解と養護教諭としての支援の方法を学びました。ASDは社会的コミュニケーションが取れないことから不登校になる事例も多いことや、ADHDの多動の特徴、またLDについては文字がどのように見えるのかを実際に体験しました。支援者の姿勢としては、多様性を認める、合理的配慮、インクルーシブ教育をしながら共生社会をつくっていく事を学びました。
- ② 12月27日（月）養護学校教諭で公認心理師の安藤英吾氏を迎えて、「インクルーシブ教育について」学びました。共生社会の形成、合理的配慮、多様な学びの場、教職員の専門性向上等…他者の心の状態を推測できる能力である「心の理論」や「認知の偏り」について学びました。また、実際に通級学級で行った支援の事例を多く出していただき、それぞれに対する対応例を教えてくださいました。特にルールを明確にすることが大切であり、課題に対しての自己把握させユニバーサル教育+自己理解をする学習スタイルに着目したアイデアいっぱいのお話でした。

#### <講座の様子…ソーシャルディスタンスを保つため人数制限等に配慮しました>

